

## I 研究主題

「主体的に学び合う児童生徒の育成」

～金銭教育を通して生活をよりよくしようと主体的に工夫し実践する態度を育成する～

## II 研究内容

### 1 研究の目的とねらい

本校は、平成31年度（令和元年度）から3年間（新型コロナウイルス感染症の影響から委嘱期間を1年延長）、広島県金融広報委員会から金銭教育研究校の委嘱を受け、取り組みを進めた。

本校の実態として、校区内に商店が少ないため、児童は保護者とともに自動車で買い物に行くことが多く、自分で店に買い物に行く経験が少ないという現状がある。また、昨今のキャッシュレス決済の普及で、児童が自分で支払いをする経験が益々減り、硬貨や紙幣を使つての購入経験が減っている。

「金融教育」は、お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育である。また、「金銭教育」は、「金融教育」のうち、特に金銭や物に対する健全な価値観の養成に力点を置いた教育である。

本校では、家庭科、算数科、特別活動等を関連付け、金銭教育の視点からカリキュラムの見直しを図り、教科横断的なカリキュラム・マネジメントに取り組んだ。

### 2 カリキュラム・マネジメントと金融・金銭教育について

各学校においては、教科等の目標や内容を見通し、特に学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のために、教科等横断的な学習を充実することや、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことが求められている。その取り組みの実現のために、児童や学校、地域等の実態を適切に把握した上で、教育内容や時間の配分、必要な人的・物的体制の確保、教育課程の実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努めていくこととした。

算数科、数学科では、小・中・高等学校を通して、数学的活動（算数的活動）を行い、その活動を通して資質・能力の育成を目指す。小学校段階では、まだ学習内容が抽象的で論理的に構成されたものになっておらず、日常生活に深く関わり、日常生活の場면을数理化して捉えたものが多い。そこで、算数科の学習と金銭教育を関連付け、算数科で身に付けた資質・能力が、日常生活の場面でも生かされるような指導の工夫を行う。

金銭教育の視点からもカリキュラムを見直すことで、算数科と日常生活をつなげるだけでなく、家庭科や特別活動等を関連付けた教科等横断的な視点によるカリキュラム・マネジメントを充実させていく。

### 3 研究の仮説

様々な教科の学習を関連付けて金銭教育に関する指導を行えば、児童は多様なアプローチを通じて金銭や経済活動について考える機会が増え、金銭や物等に対する健全な価値観を身につけることができるであろう。

## 4 研究計画

	教科	学年	内容
令和元年4月			研究計画立案
令和元年6月	算数	3年	「買えますか？買えませんか？」
令和元年7月	算数	2年	「買えますか？買えませんか？」
令和元年10月	学校行事	5・6年	造幣局見学
令和元年11月	家庭科	5年	「物や金銭の使い方を考えて買い物名人になろう」
令和2年1月	算数	1年	「大きいかず～おみせやさんごっこをしよう～」
令和2年2月	保護者対象		スマホ・インターネットとの付き合い方
令和2年4月			研究計画立案
令和2年10月	算数	1年 特別支援学級	「いろいろなおかね～ハロウィンリースをプレゼント！～」
令和2年11月	家庭科	5年	「物や金銭の使い方を考えて買い物名人になろう」
令和3年4月			研究計画立案
令和3年6月	算数	5年	「図を使って考えよう」(同じものに目を付けて)
令和3年6月	算数	2年 特別支援学級	「かいものをしましょう」(お金をならべてみましょう)
令和3年7月	社会	6年	租税教室
令和3年9月	学級活動	1～6年	インターネット、オンラインゲームとの付き合い方
令和3年9月	家庭科	5年	「物や金銭の使い方を考えて買い物名人になろう」
令和3年9月	特別活動	2年	「お買い物ごっこをしよう」
令和3年11月	生活単元	2年 特別支援学級	「育てた野菜を販売しよう」
令和4年1月	国語	6年	「プロフェッショナルたち」
令和4年1月	算数		講演
令和4年2月			研究のまとめ

### Ⅲ 研究実践

学年・内容	1年 算数「大きいかず～おみせやさんごっこをしよう～」
分野・目標	B 金融や経済の仕組みに関する分野 ア お金や金融の働き お金の働きや役割を理解する
具体的実践	はじめに硬貨の種類、特徴、価値について理解させた。その後、財布に入っているお金に更にお金に加わったときにいくらになるか、財布の中のお金で買い物をした時残金はいくらになるかなどを計算で求める活動を行った。どのように考えたか、思考の過程について話し合うことを通して、それぞれの硬貨の価値や買い物をするときの計算の仕方について理解させることができた。

学年・内容	1年特別支援学級（知的障害） 算数「いろいろなおかね～ハロウィンリースをプレゼント！～」
分野・目標	C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野 ア 自立した消費者 自立した消費者として行動するための基礎知識と態度を身に付ける
具体的実践	生活科で作成したリースに飾りを付けて家族に贈る場面を設定した。自分が選んだ飾りの値段を読み取り、お金を出して買うという買い物の疑似体験を通して、ものの代金に対しどのお金を出せばいいか判断する考え方を身に付けさせることができた。 <b>【実践①に詳細を掲載】</b>

学年・内容	2年 算数「買えますか？買えませんか？」
分野・目標	C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野 ア 自立した消費者 自立した消費者として行動するための基礎知識と態度を身に付ける
具体的実践	「500円で98円のパンを5つ買うことができるか」という問題から、100円玉5枚で、98円、105円など100円前後の品を複数個買えるかどうかを簡単な見積もりで判断する活動を行った。判断した理由を説明し合うことを通して、「それぞれの品物単品が100円で買えるかどうかで判断すればいい」という考え方を身に付けさせることができた。

学年・内容	2年特別支援学級（知的障害） 算数「かいものをしましよう」（お金をならべてみましょう）
分野・目標	B 金融や経済の仕組みに関する分野 ア お金や金融の働き お金の働きや役割を理解する
具体的実践	買い物の場面を設定し、物の値段を見て、財布の中のお金を足りるように出すにはどう出せばいいのかについて考える問題から、ちょうど金額が無い時には多く出さなければならないことについて理解させることができた。

学年・内容	2年特別支援学級（知的障害） 生活単元「育てた野菜を販売しよう」
分野・目標	D キャリア教育に関する分野 ア 働く意義と職業選択 自分の職業選択について主体的に考える
具体的実践	学級園で育てた野菜を校内で販売し、得たお金を貯蓄し、そのお金で次の季節の野菜の種や苗を購入するという活動を通して、お金の使い方を考えさせるとともに、自分の仕事が人の役に立つ喜びを味わわせることができた。また、栽培活動や販売活動を通して働くことの喜びと大変さ、お金の価値の重さについて理解させることができた。

学年・内容	3年 算数「買えますか？買えませんか？」
分野・目標	C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野 ア 自立した消費者 自立した消費者として行動するための基礎知識と態度を身に付ける
具体的実践	「500円で198円ののりと298円のコンパスは買えるか」という問題から、値段の異なる物について、持っているお金で買えるかどうかを簡単な見積もりで判断する活動を行った。判断した理由を説明し合う活動を通して、「物の値段をおよそ何百円とみて判断すればいい」という考え方を身に付けさせることができた。

学年・内容	5年 家庭科「物や金銭の使い方を考えて買い物名人になろう」
分野・目標	A 生活設計・家計管理に関する分野 ア 資金管理と意思決定 限られた予算の下でよりよい生活を築く意義を理解し、実践する技能と態度を身に付ける
具体的実践	価格や特徴の異なる3種類のノートのうち、「あなたならどれを買うか」という問いに対し、自分なりの理由を挙げて判断させた。正解は一つではないため、児童間で考えを交流させることで様々な物の見方・考え方があることに気付かせることができた。また、3種類の豆腐を選ぶ活動では、「食品ロスを出さない」等、ノートを買う場面とは違う判断基準もあることに気付かせるとともに、今後の生活で実践しようとする意欲をもたせることができた。 <b>【実践②に詳細を掲載】</b>


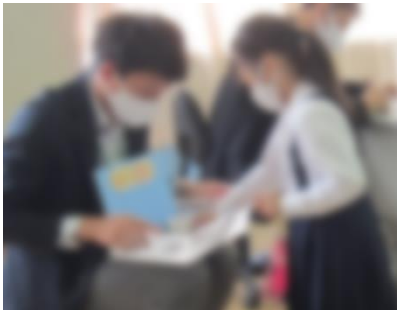
学年・内容	6年 国語「プロフェッショナルたち」
分野・目標	D キャリア教育に関する分野 ア 働く意義と職業選択 自分の職業選択について主体的に考える
具体的実践	教科書教材「プロフェッショナルたち」を基に、3人のプロフェッショナルがどのような考えをもって仕事に臨んでいるか読み取らせた。読み取ったことをもとに、興味をもった職業やその職業についている人の思いについて調べ、将来の働き方や生き方について考えさせることができた。

学年・内容	5・6年 学校行事 造幣局見学
分野・目標	B 金融や経済の仕組みに関する分野 ア お金や金融の働き お金の働きや役割を理解する
具体的実践	日ごろ使っているお金はどのような場所でどのように作られているのかについて、造幣局の見学を通して学ばせ、社会におけるお金の様々な働きについて考えさせることができた。 <b>【実践③に詳細を掲載】</b>

学年・内容	全学年 学級活動「インターネット、オンラインゲームとの付き合い方」
分野・目標	C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野 イ 金銭トラブル・多重債務 金銭トラブルや多重債務の実態を知り、巻き込まれない態度を身に付ける
具体的実践	小学生が巻き込まれる可能性のあるインターネットやオンラインゲームのトラブルについて知り、危険を回避するにはどのようなことに気を付けて使えばよいか、家庭でどのようなルールが必要かなどについて考えさせることができた。

【実践①】

- 1 学年：1年特別支援学級（知的障害）
- 2 学習内容：算数「いろいろなお金」
- 3 本時の目標：リースに飾りたいものを選んで、お買い物をしよう。
- 4 本時の展開

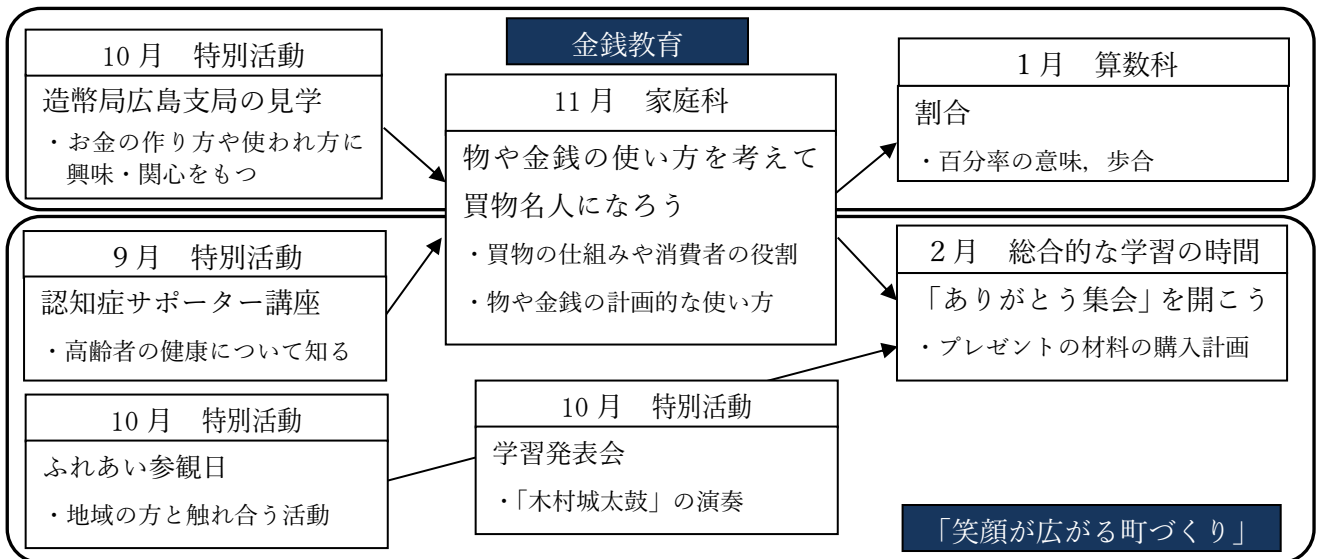
展開	主な学習活動と児童の思考
<p>つかむ 見通す</p>	<p>1 課題を発見し、見通しを持つ。 ○リースに付けたい飾りはどれかな。 ・むらさきのリボンがいいな。 ・おばけもつけたいな。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて リースにかざりたいものを選んで おかいものをしよう。</p> </div> 
<p>自力解決</p>	<p>3 学習課題を追究する。 ○今日の手順を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①えらぶ ②ねだん ③いくら? ④おかいもの ⑤まとめ・ふりかえり</p> </div> <p>4 買いたいものを選び、代金を知る。 ○買いたいものを選んで、いくらなのか読もう。 ・リボン <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10えん</span> ・おばけ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">50えん</span> ・こうもり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5えん</span> ・ジャックオーランタン <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100えん</span> ・ミニカボチャ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3えん</span></p> <p>5 お買い物にいき、欲しいものを買う。 ○お金ボードで買えるかどうか確かめて、お買い物をしよう。 ・これください。10えんわたします。 ・買えないな。なんでだろう?</p>
<p>まとめる・振り返る</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>いくらなのか すうじを よくみて おかいものをする。</p> </div> <p>7 適用問題を解いて学習の定着を図る。 ○まじよのぼうし <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4えん</span> ・1円玉を 4枚出したらいいな。</p> <p>8 本時の振り返りをする。 ○欲しいものが買えたか、見てみましょう。 ・むらさきのリボンは10円だったよ。 ・はやくかざりたいな。 ・おばけを もう一個買おうかな。</p> 

5 児童の反応等

- 数字をよく見て効果を選び、正しい金額のお金を出すことができた。
- 5円玉と1円玉5枚が同じ価値であることの理解や、5円玉で出す方が便利であるというよさについては、今後も継続して指導する必要がある。
- お金について知りたい、触ってみたいという気持ちは継続しており、今後も継続してお金に触れる機会を設定したい。

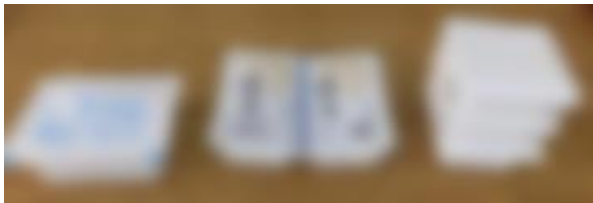

【実践②】

- 1 学年：5年
- 2 学習内容：家庭科『物や金銭の使い方を考えて買い物名人になろう』
- 3 本単元を構想するためのカリキュラム編成



※上記のように計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった行事がある

- 4 本時の目標
  - 価格や品質などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方を考えることができる。
- 5 本時の展開

展開	主な学習活動と児童の思考
つ か む	<p>1 課題を発見し、見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">あなたなら、どれを買いますか。</div>  <p>①自主学習用のノート                      A 100円、40枚、中性紙、ジスマーク                      B 120円、30枚、表紙にキャラクター                      C 5冊パックで400円、30枚</p> <p>②みそ汁に入れる豆腐                      ア 400グラム、100円、竹原産 消費期限3日後                      イ 80グラム×2個、90円、国産 賞味期限1週間                      ウ 150グラム×3個、120円、北海道産 賞味期限2週間</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 買い物名人になるためには、どんなことに気をつけて買えばよいだろう。</div>

2 ワークシートに選んだ商品と、その理由を書く。

① 自主学習用のノート

○選んだノートの番号と選んだ理由

Aを選んだ児童が6名、Cを選んだ児童が4名、Bを選んだ児童はいなかった。

- ・A：1冊40まいで100円だから、おとく感がある。ジスマークがついているから。
- ・A：Aのノートを5冊買ったなら500円だけど、紙のまい数はAの方が多から。
- ・A：1冊のページ数が多いから。JISマークがついているから。中性紙がついているから。
- ・C：5冊で400円だと安いし、自学のノートは、6年生でも中学生でも使うかもしれないから。
- ・C：安いから。自学ノートは中学生になっても使えるかもしれないから。
- ・C：5冊パックで400円だから1冊80円で、AやBよりも安いから。5冊あれば、何回も買いに行かなくてもいいから。6年生や中学生でも使えるから。

Bについては、参観していた教員が「私はBのノートを選びました。わけは、高くても絵が気に入っているノートの方が、勉強のやる気が出ると思ったからです。値段は高くても、気に入ったノートがいいので、Bにしました。」と発言した。児童は、「それもある。」「納得。」などとつぶやいていた。

② みそ汁に入れる豆腐

○選んだ豆腐の番号と選んだ理由

Aを選んだ児童が8名、Iを選んだ児童が1名、Uを選んだ児童が1名であった。

- ・A：地産地消が地域のためにいいと思ったから。買ってすぐ使うから消費期限は3日で十分。Iは360グラムでAより少ない。Uは450グラムで多いけど50グラムが40円もするかなと思った。Uはどこで作ったのか分からなかったから。
- ・I：Iは360グラムで90円だから。2個に分けて使えるから、2回分だったら安い。
- ・U：Uは3個ついているから。1個40円だから1個分が安い。

3 グループで、自分が選んだ商品とそれを選んだ理由を交流する。

4 各グループで話し合ったことを全体で交流し、買い方の工夫を話し合う。

- ・安くても良い品を買いたい。
- ・ノートは多めに買って置いてもいいけど、お豆腐は期限内に食べきれぬ量を買った方がいい。
- ・食べ物には特に安心できる品を選びたい。
- ・よく考えて気に入った物を買いたい。
- ・買った物を最後まで使うことも大事。
- ・いつ使うか、何の料理に使うかによっても考える。

**買い物名人になろう** 5年 名前( )

あなたなら、どれを買いますか。

1 自主学習で使うノート

<b>A</b> 40まい 中性紙 1まつ 100円	<b>B</b> 30まい 表紙にキャラクターのイラスト 1まつ 120円	<b>C</b> 30まい 5まつパック 400円
-------------------------------------	--	---------------------------------

選んだノートの記号( A ) ※中身は同じ  
選んだ理由を書きましょう。  
40まいで、1まつしかはいていないけど、ジスマークがついていて、やすいから、かんきょうにいいから。

2 みそ汁に入れるとうふ

<b>A</b> 竹原産 消費期限3日 400g 1こ 80円	<b>I</b> 国産 賞味期限1週間 180g×2個 2こセット 90円	<b>U</b> 賞味期限2週間 150g×3個 3こセット 120円
---	---	--

選んだとうふの記号( A )  
選んだ理由を書きましょう。  
消費期限が3日しかないけど、竹原産で安心だし、400gだし、80円だから。

買い物名人のコツ  
いくつかのものが、本当にいるのが、かんきょうにいいのが、安全な料理のつくりか、おなごを考へる。

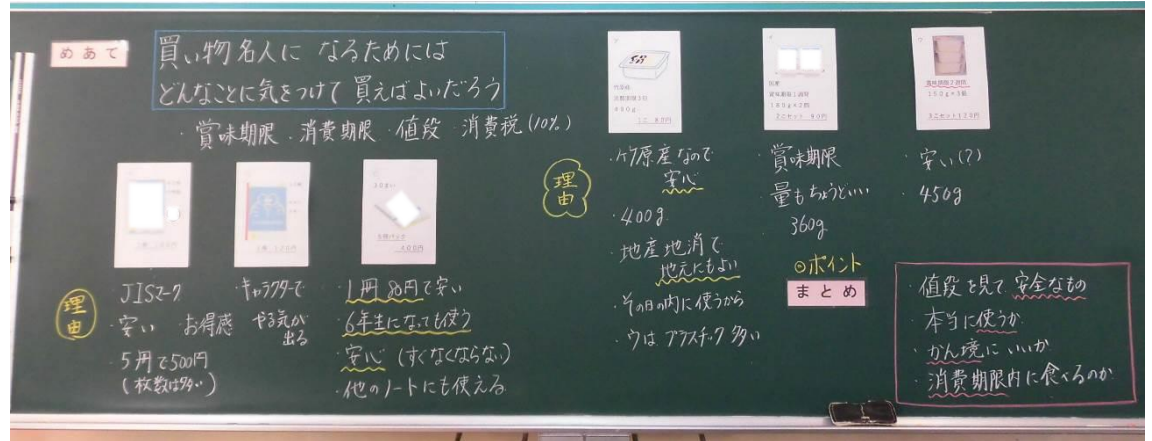
ふりかえりわたしは、自分で買いたいものを5日間、名人のつくりかをしていけるようにしたいです。



5 買い物名人になるために気を付けることをまとめる。

○買い物名人のコツ

- ・消費期限や賞味期限を見る，期限内に食べられるのかを考える。
- ・マークを見る，安全な物を選ぶ，安心して食べられるものを選ぶ，環境にやさしいものを選ぶ
- ・値段が高すぎないかを考える。
- ・ノートのようなものは何冊買うか，環境によいのかを考える。食べ物は，期限内に食べられるのか，安全かを考える。
- ・本当に使うか，最後まで使えるかを考える，買った後のことを考える。



6 お世話になった地域の方に喜んでいただけるプレゼントなどを、買い物名人の見方で選ぼうという意欲をもつ。

- ・食べ物は特に安全なものを選びたい。
- ・地産地消や環境にも気をつけたらいい。
- ・食べられるか、使いきれんかを考える。

7 本時の振り返りをする。

- ・自分で選んで買う時は、いろんなことに注意して買おうと思いました。
- ・買い物名人のコツをしっかりと利用したい。
- ・買い物をするときには、ポイントに気をつけながら買う。

6 児童の反応等

○児童の発言に「今日のみそ汁に使うから、消費期限が3日でも関係ないと思った。」とあるように、どのような場面で使う商品を買うのかを具体的に設定して考えることで、条件によっても選ぶ商品が変わることを意識することができた。

○商品のどれを選ぶとよいかについては、正解が1つではなく、それぞれ選ぶ理由があり、使う用途や買う目的、持っている金額など、条件やその人のライフスタイルによっても答えが変わってくるということを実感することができた。

○買い物の仕方を知識として得るだけでなく、地産地消の食育や、第4学年で学習した環境問題など、既習内容や生活体験とも結びつけながら、児童が主体的に考えて「買い物のコツ」を考え出すことができた。

●地域の実態として、自分で買い物をする経験があまりないので、家庭科だけでなく総合的な学習の時間などにおいて意図的に学んだことを活用する場面を設定していきたい。

【実践③】

- 1 学年：5・6年
- 2 学習内容：特別活動（社会見学）「造幣局見学」

お金の作られ方を見学し、お金がどのように社会で使われていくか等について調べた。

見学後は、内容を新聞にまとめ、校内や保護者へ広める活動を行った。日頃使用している硬貨や紙幣について詳しく知ることができ、買い物の仕組みや消費生活について興味をもつことができた。



<p>みんなが知ってる お金新聞</p> <p>2019年 10月24日 発行</p>		<p>一、溶解（とかす） お金の材料を電気炉でとかし、金属のかたまりを作ります。</p>
<p>二、圧延（ひきのぼす） 金属の板を押し延ばし、巻き取りまします。</p>		<p>三、圧せん（こうめく） 延ばした板を打ち出し、形に打ちまします。</p>
<p>四、縁（こうめく） 模様を出し、すくすくするたのみの周りにふくらみをつける。</p>		<p>五、焼（やわらかくする） 熱を加え、やわらかくする。</p>
<p>六、洗（あらう） 油などで汚れた円形を洗剤で洗って、乾かす。</p>		<p>七、圧印・検査 検査機で検査し、合格品を取り出す。</p>
<p>八、計数（かぞへ） 袋詰めする。</p>		<p>クイズ？</p> <p>1. 5円玉は金で、いくつのさん業がかかっているでしょう？ A</p> <p>2. 1円玉は、何の金属からできているでしょう？ アルミニウム 金 銅 A</p>
<p>感想 造幣局に行き、7、1m 30cmの金属のかたまりをひきのぼすと、アールぐらいの長さにならなりました。わたしたちが使うように使っているお金は、とても手間がかかっています。</p>		<p>造幣局の技術 造幣局の技術は、昔から伝わる技術です。造幣局の技術は、昔から伝わる技術です。</p>

#### IV 研究の成果と今後の課題

学校における金銭教育は、地域環境や家庭環境を考慮して行う必要がある。本校の場合は、地域に児童が買い物をする商店が少なく、児童の買い物経験がほとんどない。このことを踏まえ、授業の中でお金を支払ったりお釣りをもらったりする買い物の場면을意図的に設定する工夫を行ったことが効果的であった。児童にとって必要感のある買い物場面を設定することで、消費生活に関する視点をもたせることもできた。また、家庭科においては、家庭での消費生活を把握するために行った保護者への取材やアンケートを授業づくりに有効に活用することができ、また、授業で学んだ買い物のポイントを家庭へ伝えることを通して、家庭で話題にしてもらうこともできた。

また、金銭教育は、特定の時間に集中して取り上げるよりも、様々な教科の学習内容や教育活動の中から関連する内容をつなげて実施する方が、児童の理解が深まるといえる。実践②にあるように教科等を横断するカリキュラム・マネジメントを行って、単元を構成すると、児童にとって学習内容を実際の生活に結び付けて考えやすくなる。こうすることで学習した内容を日々の実践にもつなげやすくなる。新型コロナウイルス感染症の影響で、計画した全ての活動を実践することができず残念であったが、委嘱期間が終了した後も取り組みを継続していきたい。

今後の課題としては、学んだことをどう実践に結び付けるかという点である。教育活動における場面設定には限界があり、学校の教育活動だけで経験を積ませることは難しい。今後は、校外での活動と関連付けたり、家庭との連携により、家庭生活に実践の場を求めたりするなど、カリキュラムの見直しも含めた取り組みが必要である。また、オンラインゲームやインターネットの使い方などについては、知識を身に付けただけでは自分の身を守ることはできず、実際の場面で適切な判断をする力が必要である。授業においても、児童が自分事として主体的に考えられるようにするなど、場面設定や指導の工夫も必要であると思われる。

生きる力の一つである、生活をよりよくするための金融や金銭に関する実践力を育成するために、今後も取り組みを継続していきたい。

以 上